



環境について楽しく学んでみませんか？

山形県の豊かな自然環境を未来へ受け継いでいくためには、限りある資源を有効に活用し、私たち一人ひとりが、環境との関わりについて理解を深めることが大切です。県では、今起こっている環境に関わる問題について楽しく学んでもらうため、学習会や工作体験会を開催したり、地域での集まりやイベントに専門の講師を派遣したりしています。

こんな場面での学習がおすすめです



学校の授業(総合的な学習の時間など)

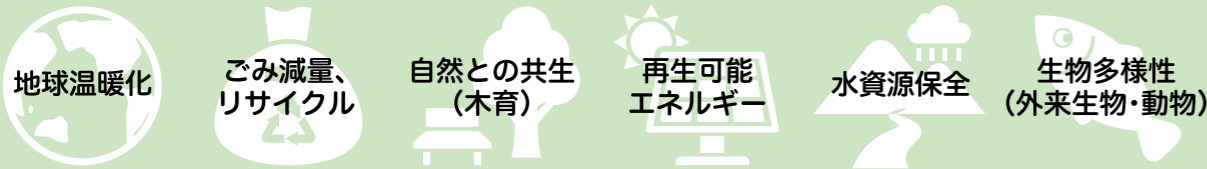
放課後児童クラブ、放課後子ども教室

P T A 学年行事、子ども会、学年行事、部活動

職場や地域の勉強会



6つのテーマの「環境学習プログラム」を用意しています



※今後、新たなテーマを増やしていきます。

室内学習(座学)



ゲームをしながら、自分たちの生活と環境の関わりを学びます。

室内学習(工作)



身近にあるものを使い、資源の大切さや自然の仕組みなどを学びます。

体験学習(野外)



実際に生物や樹木などに触れながら、環境への関心を高めます。



- 室内学習(座学・工作)、野外での体験学習の中から、ご希望に応じて学習方法を選べます。
- 一つの学習はおおむね1~2時間程度なので、気軽に取り組むことができます。
- 複数の学習方法を組み合わせることで理解が深まり、知識の定着につながります。

無料で講師を派遣します。お気軽にご相談ください

環境について学びたいんだけど…

1 相談



《相談窓口》
山形県環境科学研究センター

2 学習内容の決定

- ◎ テーマを選ぶ。
- ◎ 学習方法を選ぶ。(複数を組み合わせることもできます。)
- ◎ 学習する場所を選ぶ。

専門講師を派遣(無料)

または

センターを訪問

3 学ぶ

- ◎ お住まいの地域の
- ◎ 学校
- ◎ 放課後児童クラブ
- ◎ 職場
- ◎ 公民館など
- ◎ みなさんが集まる場所

山形の美しい環境を守っていくことの大切さについて楽しく学び、日常生活の中で、環境に配慮した行動を心がけましょう。

環境学習支援情報は
こちらから▶



▶ 問い合わせ ◎ 山形県環境科学研究センター ☎0237-52-3132

交流人口の拡大と産業の振興に向けて

つながる高速道路、使いやすい高速道路を目指します

東北中央自動車道 南陽高島 I C ~ 山形上山 I C 間が4月13日に開通し、東根市から南側が首都圏と高速道路で結ばれるとともに、南東北に環状ネットワークが形成されました。ゴールデンウィーク期間中、今回の開通区間では1日平均約1万4千台の交通量があり、県内外の多くの方々にご利用いただきました。県では今後も、高速道路の整備を積極的に推し進めていきます。



つながる高速道路を目指して

本県の高速道路の供用率※は76%まで向上してきましたが、途切れている区間もまだ多くあります。一日も早い高速道路ネットワークの完成に向け、県では以下の取組みを進めています。 ※高速道路の計画距離に対する供用距離

■ 整備促進に向けた働きかけ

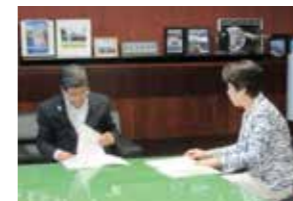
高速道路が開通した区間では、企業進出が進むなど大きな効果が表れています。こうした整備効果を示しながら、県民の要望や期待を政府へ強く伝えていきます。

■ 整備費用の負担

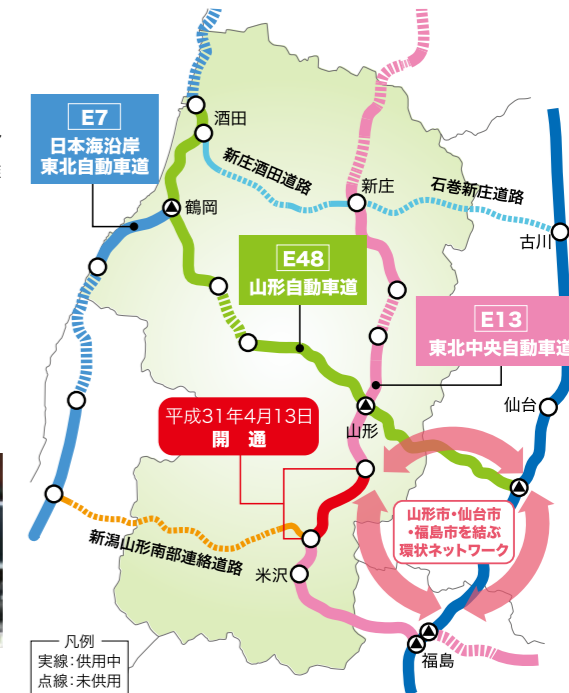
国が整備する通行料金が無料の高速道路について、整備費用の1/4~1/3相当を県が負担します。

■ 円滑な事業執行への協力

速やかに工事に着手できるよう、事業用地の先行取得を行っています。



吉村知事から石井国土交通大臣に説明(H30.8)



使いやすい高速道路を目指して

高速道路を、より多くの方に、より身近に、より便利に利用していただけるように、県では以下の取組みを進めています。



東北中央自動車道 東根IC(H31.3.23開通)
県が追加のインターチェンジを整備しました

■ 追加インターチェンジの整備

無料の高速道路のインターチェンジ間に新たなインターチェンジを追加するとともに、周辺のアクセス道路を整備しています。

■ スマートインターチェンジ(SIC)設置に向けた支援

有料の高速道路区間では、複数の市町村で ETC カード専用のSIC 設置に向けた調査が進められています。事業化に向け、関係機関との調整や市町村への助言を行っています。

皆さん 高速道路を使って、
県内の美食・美酒や温泉、美しい自然、伝統文化など、
まだ知らない「山形の魅力」に触れてみましょう！



▶ 問い合わせ ◎ 高速道路整備推進室 ☎023-630-2609